

市立秋田総合病院中期経営計画
【評価結果報告書】

平成24年12月

市立秋田総合病院
中期経営計画評価委員会

1 市立秋田総合病院中期経営計画評価委員会

委員長 安井 信之（地方独立行政法人秋田県立病院機構理事長）

副委員長 福島 幸隆（秋田市医師会長）

委員 堀井 照重（公認会計士堀井照重事務所）

伊藤 千鶴（秋田市保健所長）

小松 眞史（市立秋田総合病院長）

2 市立秋田総合病院中期経営計画評価委員会開催内容

第 1 回 日時：平成24年11月6日（火）

場所：市立秋田総合病院2階ナースセンター

内容：市立秋田総合病院中期経営計画の平成23年度

取り組み状況について

第 2 回 日時：平成24年12月5日（水）

場所：市立秋田総合病院2階ナースセンター

内容：市立秋田総合病院中期経営計画に関する評価

について

3 市立秋田総合病院中期経営計画評価基準

※各項目について下記（5段階）により評価

A	特に優れた実績をあげている
B	年度計画通りに実施（達成度が100%以上と認められる。）
C	概ね年度計画を実施（達成度が80%以上100%未満）
D	年度計画が十分に達成されていない（達成度が80%未満）
E	業務の大幅な改善が必要である

市立秋田総合病院中期経営計画評価シート①

1 取り組み状況の概要

区 分		取り組みテーマ (平成21年度～23年度)	平成23年度取り組み内容	評価コメント	総合評価
(1)	急性期病院としての機能強化	診療体制の整備	・D P C (包括支払制度)の運用維持 ・7対1看護体制の効率的な運用 ・乳腺・内分泌外科を新設	・乳腺内分泌外科を新設し順調に維持している。 ・7対1看護体制が維持出来た。 ・7対1看護体制とし増収効果あり。 ・D P C による効果が増加、7対1看護体制による増収効果あり。 ・乳腺・内分泌外科の開設は非常に良かったと思う。 ・特殊外来も予定通りに開設されている。	B
			・チーム医療の充実	・緩和医療チームやN S T等のように組織横断的なチームの活発な活動もあるが、まだまだ不十分である。 ・チーム医療の充実 ・委員会の回数など年度計画が必要である。 ・緩和ケア外来がまだ再開されていない。	C
			・救急体制の強化	・脳外科の常勤医が一人のため、脳神経系の活動性が低い。 ・救急医による講習会等が順調に実施されている。 ・救急体制の拡充 ・委員会の回数など年度計画が必要である。 ・臨床工学技師を増員している。	B
		医療機器等の整備	・計画的かつ効率的に医療機器の整備、更新を執行	・順調に整備が出来た。 ・計画通りの医療整備実績額である。 ・計画通り行われている。	B
(2)	医療安全対策の強化	医療安全対策の機能強化	・医療安全対策委員会の定期開始 ・院内での教育・研修会の充実 ・院内薬剤巡回の実施 ・医療安全強化月間	・インシデントや事故報告の分析を定期的に行っている。 ・医療安全強化月間での取り組みが積極的である。 ・医療安全対策への対応 ・医療安全について計画通り行われている。	B
(3)	地域医療連携の強化	他院との信頼関係構築	・開業医訪問 ・地域医療連携の会を開催 ・地域連携誌「らしん盤」の発行	・小児科救急開催に向けて開業医、病院勤務医の全面的協力を約束頂くことが出来た。 ・医療連携は前進している。 ・他院との連携、紹介率、逆紹介率ともに増加している。	B
(4)	公立病院としての特性の発揮 (不採算部門、救急医療、各種教室、専門外来)	不採算部門への取り組み	・地域で必要となる救急、結核、精神部門への取り組み ・救急救命士に対する教育や講習を開催し、技術の向上 支援	・精神病棟を15対1から13対1にし、さらに精神科急性期治療病棟入院料を算定できる施設基準にすべくよう努めている。 ・結核病床で個室が少なく入院患者の増加が困難である。 ・救急救命士実習受入れ実績(5名)があり、救急医療の発展に貢献している。 ・病床利用率の向上を図るべきである。 ・結核病床、精神病床利用率は、いずれも平成21年度から平成23年度範囲内では最低値である。 ・やむを得ない事情もあるが数値的にはD評価となる。 ・結核、精神部門の病床利用率は低下のままである。	C
		健康講座等の実施	・各種教室、健康講座の定期開催 ・専門外来の実施	・各職員が積極的に行っている。 ・良く実施されている。 ・計画通り実行されている。	B

市立秋田総合病院中期経営計画評価シート②

区 分		取り組みテーマ (平成21年度～23年度)		平成23年度取り組み内容	評価コメント	総合評価
(5)	医療ニーズに対応するための方策	診療情報の提供		・ホームページ、「広報あきた」や「さがけ広報板」による診療情報配信 ・院内大型ディスプレイによるPR	・ホームページの内容を充実させる。 ・市民に対するPRは適時適切であると考えられる。 ・計画通り実施されている。 ・中核病院における院内大型ディスプレイによるPRは、同規模病院であれば当たり前のよう实施方式ではないか。 ・広報や院内ディスプレイが計画通り行われている。	B
		患者サービスの強化		・外来待ち時間調査の実施 ・患者満足度調査の実施	・外来待ち時間30分以内が目標である。 ・計画通り実施されている。 ・調査は計画通りに行われ結果も良好である。	B
(6)	地域がん診療連携拠点病院の指定	がん治療体制の充実		・拠点病院および推進病院との連携、情報共有 ・がん患者の相談支援	・乳腺専門医の赴任による新しい診療科の立ち上げ ・がん相談室の活性化 ・医療相談体制の更なる充実を図る。 ・相談件数は昨年と同じく減少したままである。	C
		緩和ケアチームの活動の推進		・コンサルテーションの実施 ・緩和ケア教室の開催 ・医師、医療者に対する研修会、院外講師による研修会を開催	・緩和ケアチームへのコンサルテーションが少ない。 ・コンサルテーション依頼件数が増加している。 ・コンサルテーション依頼件数は伸びたが、外来は再開されていない。 ・計画通りにコンサルや教室の開催が行われている。	C
(7)	人材育成と確保	人材育成と人材確保		・初期・後期臨床研修病院として、研修プログラムや実習内容の充実 ・医学生を対象とした病院見学や看護師などの実習生受入れ	・看護師不足が続いている。 ・医学生や看護学生への研修等を通じて当院への親近感を養う。 ・卒後臨床研修医の確保 ・研修医受け入れは定数に満たなかったが、実習は計画通り行われている。	C
		医療クラークの配置		・医療従事者の事務負担軽減を図るため、医療クラーク1名を新規採用	・医療クラーク1名の新規採用 ・予定通りの人員を採用	B
(8)	経営健全化の推進	(収入増加策)	診療報酬の加算取得への対応	・院内での診療収入調整会議を開催において、各診療科 ・コメディカルより加算取得等状況把握を実施	・加算や指導料の取得漏れを注意したい。 ・計画より実績が上回っている。 ・加算取得のためのチェック体制を整備、取得漏れ防止の対応を行っている。	C
			患者数の確保	・地域医療連携の強化	・現在、紹介率の平均が30～40%であり、40%を目指したい。 ・患者数が増加している。 ・患者数であるが入院は計画より下回り、外来は計画より上回っている。病床利用率は計画を下回っている。 ・外来は予定数を越えたが入院患者数が予定に及ばなかった。	C
			医療機器の有効活用	・稼働率上昇に向けて院内各部門との情報共有	・稼働率が増加している。	C
		(費用削減策)	診療材料の適正管理	・診療材料在庫管理システムを活用した適正在庫管理 ・医療材料購入費削減業務委託(コンサル)	・コンサルによる削減効果が見られるが、また不十分である。 ・在庫金額が昨年度より減少している。 ・適切な在庫管理、業務委託により医療材料費の削減効果 ・コンサルを利用して3ヵ月間で約3千万円が削減された。 ・診療材料費の増加は見られたが、コンサルの導入により経費削減効果あり。	B
			後発医薬品の採用、購入単価見直し	・後発医薬品への切り替え実施 ・医薬品ベンチマーク、分析システムデータを活用した値引率の改善	・後発医薬品への切り替えが不十分である。 ・値引率は比較的満足出来る成績である。 ・後発医薬品への切り替えは拡大されつつある。 ・後発医薬品への切り替え効果が見られる。 ・後発品切り替えで約8,490万円の持ち出しが減少している。 ・後発医薬品の採用、購入単価見直しにより経費を大きく削減している。	B
			委託業務の内容精査	・委託業務における契約内容の精査 ・仕様書等見直しによるコスト削減	・委託契約に関する情報不足、ベンチマークが無い。 ・専門担当職員の養成 ・委託料の実績は増加している。 ・計画通りの実施である。	B

市立秋田総合病院中期経営計画評価シート③

区 分		取り組みテーマ (平成21年度～23年度)	平成23年度取り組み内容	評価コメント	総合評価
(9)	財団法人日本医療機能評価機構における認定の更新	医療機能評価認定の更新	・医療機能評価(Ver.6)認定の更新を受けるため、改善必要項目であった「外来診療録の貸出管理を適正に行う仕組みを整備」についての改善案を作成	・医療機能評価の認定更新された。 ・計画通り認定を受けた。	B
(10)	施設の老朽化への対応	施設設備の老朽化への対応	・施設が老朽化していることから、患者の安全を優先した計画的な施設整備の更新、整備を実施	・施設整備の更新は計画通り行われている。 ・受変電設備等の更新 ・計画通りの実施されている。	B
(11)	高度医療へ対応するための医療機器の整備等	高度医療への対応	・検査受託、施設利用など地域の医療機関に対する支援機能の充実	・CT、MRIの共同利用が進んでいる。 ・高度医療機器の稼働実績が前年度より増加している。 ・昨年より検査、活動件数は増加している。	B
(12)	未収金対策	未収金回収の強化	・簡易裁判所支払督促制度の活用 ・未納者への電話掛けや自宅訪問による催促の実施	・期待した程の収入金はない。 ・未収金回収の努力は認められる。 ・さらに効率的な未収金回収方法をとるべき。また、病院としての断固たる姿勢を示すべきである。	C
		未然防止への対応	・医療相談体制の充実 ・公的扶助を含む社会保障制度の活用等の相談を実施	・外来会計支払いシステムの改良を計画している。 ・医療相談件数は増加している。 ・相談件数が増加しており計画通りである。	B
(13)	一般会計からの繰入	原則に基づく一般会計からの繰入	・地方公営企業法に定める経費負担の原則に基づいた繰入金を一般会計へ要求	・予定通りの繰入れが行われている。 ・一般会計からの繰入額が多額である。	B
(14)	再編・ネットワーク化および経営形態の見直し	経営形態見直しの検討	・最適な経営形態への移行についての検討 ・経営形態検討委員会および幹事会の開催 ・経営形態有識者委員会の開催 ・市議会への報告	・独法化の選択 ・経営形態の独法化への移行準備	B

市立秋田総合病院中期経営計画評価シート④

2 数値計画の達成状況

(1) 収益的収支に係る数値計画の達成状況（単位：千円）

項 目	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (計画)	H23年度 (実績)	計画差	達成率 (%)	評価コメント	総合評価
病院事業収益	9,108,622	9,169,773	9,236,891	9,403,933	167,042	101.8	・収益を上げることが出来た。 ・計画を上回っている。 ・外来収益が減少している。 ・概ね計画を達成している。	B
医業収益	8,149,421	8,378,254	8,465,166	8,623,686	158,520	101.9		
うち入院収益	5,048,443	5,568,593	5,333,694	5,849,751	516,057	109.7		
うち外来収益	2,739,353	2,488,718	2,767,078	2,472,299	△ 294,779	89.3		
医業外収益	957,744	785,095	771,724	780,247	8,523	101.1		
特別利益	1,457	6,424	1	0	△ 1	皆減		
病院事業費用	8,916,242	9,213,292	9,178,525	8,963,815	△ 214,710	102.4	・材料費を下げる事が出来た。 ・給与費は実績が計画を上回っている。 ・材料費は実績が計画を下回っている。 ・経費は実績が計画を下回っている。 ・概ね計画を達成している。	B
医業費用	8,639,451	8,901,999	8,892,277	8,746,153	△ 146,124	101.7		
うち給与費	4,693,670	5,075,562	4,802,552	4,994,504	191,952	96.2		
うち材料費	2,120,528	2,052,684	2,189,899	1,959,829	△ 230,070	111.7		
うち経費	1,362,292	1,343,818	1,420,935	1,362,085	△ 58,850	104.3		
うち減価償却費等	422,708	383,251	435,000	385,100	△ 49,900	113.0		
医業外費用	249,894	232,348	248,248	215,134	△ 33,114	115.4		
うち企業債利息	71,592	54,505	52,242	45,504	△ 6,738	114.8		
特別損失	26,897	78,945	38,000	2,528	△ 35,472	1,503.2		
経 常 収 支	217,820	29,002	96,365	442,646	346,281	652.2	・計画が大幅に上回っている。 ・計画を大きく上回っている。	A
収 支 差 引	192,380	△ 43,519	58,366	440,118	381,752	754.1	・計画が大幅に上回っている。 ・計画を大きく上回っている。	A
累 積 欠 損 金	2,782,175	2,542,069	3,031,633	2,101,951	△ 929,682	144.2	・累積欠損金が減少している。 ・計画を大きく上回っている。	A

(2) 資本的収支に係る数値計画の達成状況（税込み）（単位：千円）

項 目	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (計画)	H23年度 (実績)	計画差	達成率 (%)	評価コメント	総合評価
資本的収入	571,798	670,703	623,670	559,675	△ 63,995	83.4	・計画を下回っている。	B
うち企業債	206,200	230,200	237,800	130,000	△ 107,800	56.5		
うち出資金	365,598	439,235	385,870	423,315	37,445	96.4		
資本的支出	1,134,425	1,061,209	1,083,980	957,966	△ 126,014	113.2	・支出が計画を下回っている。	B
うち建設改良費	246,526	270,937	276,004	187,757	△ 88,247	147.0		
うち企業債償還金	887,899	790,272	807,976	770,209	△ 37,767	104.9		
収 支 差 引	△ 562,627	△ 390,506	△ 460,310	△ 398,291	62,019	115.6	・計画を上回っている。 ・収支差が計画より減少している。 ・計画を達成している。	B

市立秋田総合病院中期経営計画評価シート⑤

(3) 指標に係る数値計画の達成状況

項 目	H21年度 (実績)	H22年度 (実績)	H23年度 (計画)	H23年度 (実績)	計画差	達成率 (%)	評価コメント	総合評価
企業債残高（千円）	4,139,909	3,579,837	2,985,374	2,939,629	△ 45,745	101.6	・計画を下回っている。 ・概ね計画通りである。	B
一般会計繰入金（千円）	1,231,977	1,235,053	1,274,391	1,217,862	△ 56,529	104.6	・計画を下回っている。 ・概ね計画通りである。	B
職員数（総職員）（人）	656	697	656	697	41	94.1	・総職員が計画を上回っている。 ・概ね計画通りである。	B
職員数（正職員）（人）	466	471	473	471	△ 2	100.4		
研修医（一年次）（人）	6	9	7	7	0	100.0		
入院延べ患者数（人）	134,398	131,443	137,982	131,810	△ 6,172	95.5	・入院延べ患者数が計画より下回っている。 ・計画を下回った。	C
入院一日平均患者数（人）	368	360	377	360	△ 17	95.5		
平均病床利用率（%）	80.4	78.6	82.3	78.6	△ 3.7	95.5	・計画を下回っている。	C
平均病床利用率（%）（一般）	83.5	82.3	85.1	82.7	△ 2.4	97.2		
外来延べ患者数（人）	291,726	289,169	290,848	297,354	6,506	102.2	・計画を上回っている。 ・概ね計画通りである。	B
外来一日平均患者数（人）	1,205	1,190	1,192	1,218	26	102.2		
患者一人当りの一日入院収益 （税込・円）	38,053	42,365	38,659	44,380	5,721	114.8	・患者一人当りの一日入院収益は増加しているが、外来収益は減少している。 ・入院収益は増加（D P C 算定）、外来収益は減少している。 ・概ね計画通りである。	B
患者一人当りの一日外来収益 （税込・円）	9,422	8,606	9,515	8,314	△ 1,201	87.4		
医業収支比率（%） （医業収益／医業費用）	95.7	94.1	95.2	98.6	3.4	103.6	・医業収益増加、医業費用減少、人件費は計画より増加 ・概ね計画通りである。	A
経常収支比率（%） （経常収益／経常費用）	103.0	100.3	101.1	104.9	3.8	103.8		
人件費比率（%） （給与費／医業収益）	58.1	60.6	56.7	57.9	1.2	102.1		
患者紹介率（%）	26.0	33.1	26.5	36.0	9.5	135.8	・患者紹介率は向上している。 ・大幅に計画を上回った。	A

※外来診療日数・・・H20年度→243日、H21年度→242日、H22年度→243日、H23年度→244日

※地域医療支援病院紹介率
$$\frac{\text{紹介患者数} + \text{即日入院救急患者数}}{\text{初診患者数} - \text{休日夜間外来患者数}}$$